



車両は横断歩道を渡る歩行者を優先させているか?



Why

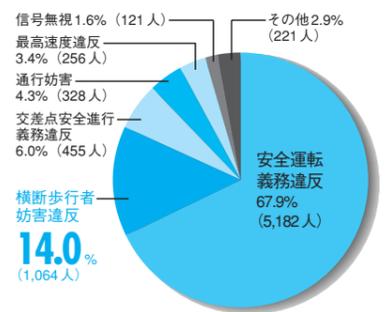
歩行中の死者のうち
14%が運転者の
横断歩行者妨害違反

道路交通法第38条では、横断歩道における歩行者優先を中心とした保護規定を定めており、信号機の有無に関わらずこの義務が課せられている。この規定を違反した場合、「横断歩行者妨害違反」となる。平成20年から24年までの5年間に於ける歩行者の交通事故死者数は7627人。そのうち1064人(構成率14%)が運転者の横断歩行者妨害違反によって亡くなっている。そこで今回は横断歩道における運転者の歩行者などへの対応を観察した。

観察は東京都練馬区内の生活道路にある



●運転者の法令違反別歩行中死者数



※出典：公益財団法人交通事故総合分析センター「イタルダ・インフォメーション No.100」

Q1

信号機のある交差点と信号機のない交差点で、それぞれ歩行者を優先せずに通過した車両は何%だったでしょうか?

A1 実際の観察から

★Q1の回答
信号機無し：88台中20台 (22.7%)
信号機有り：36台中7台 (19.4%)

信号機のない交差点では、横断歩道手前一時停止の標識と停止線が設けられているが、停止線の手前で止まった車両は約3割。ほとんどの車両が停止線を越えた地点で一時停止をしていた。歩行者が渡り出すのを待ちきれずに横断歩道を通過する車両もあった。

信号機のある交差点は見通しがよく、車両も歩行者・自転車も互いの存在を認識している様子だった。歩行者1人に対して、車両が1台という場面が大半だったが、通行台数が一時的に増え大際には、後続のドライバーは前車の動きに注意が向いてしまうようで、歩行者を優先しないケースも見られた。



歩行者がいても徐行で横断歩道に進入する車両もあった



横断前に車両の往来を確認する高齢者

この交差点から400mほど奥まった地点にあるのが、信号機のある交差点。いずれの場所も地下鉄駅と商業施設からほど近く、生活道路として利用されている。週末

16時半から観察した信号機のある交差点では、先行車両がある場合、後続車両が連なって横断歩道に進入し、歩行者の行き来を妨げてしまうことがあった。この状況は信号機のない交差点でも見受けられた。歩行者の安全確認は、観察中に通行した人のほぼ半数が実施をしていた。特に高齢者は、横断歩道を歩き始める前に車両の状況を目視してから横断していた。なかには通過車両がゼロになるまで歩道で待つ

から渡り始めることもあった。横断歩道での歩行者優先は運転者の義務である。また、歩行者も横断歩道には細心の注意をはらって通行しなければならない。特に日常的に利用している生活道路では「いつもクルマは来ないから」「歩行者はきつといない」などと、状況を確認せず安全と思いい込んでしまいがちだ。経験則に頼らず、必ず目視で安全を確認したうえで横断歩道・交差点を通行すること。また、歩行者においては、横断を始める前はもちろん、横断中も周囲の状況に注意を払うことが大切である。携帯電話などを操作しながらの通行は安全確認の妨げや、思わぬ事故に巻き込まれる可能性があるため、くれぐれも使用は慎むよう心がけるべきだ。

Advice

安全確認をせず横断する歩行者に細心の注意を!

に観察を実施したため、通過する車両の多くはマイカー。営業車両や大型トラックはほとんど目にする事はなかった。

Q2

信号機が設置されている交差点と設置されていない交差点で、安全確認をしていなかった歩行者は何%だったでしょうか?



A2

実際の観察から

★Q2の回答

信号機無し：98人中50人(51.0%)
信号機有り：35人中17人(48.6%)

それぞれの交差点で1時間の観察中に安全確認をしなかった歩行者は、全体の約半分だった。年齢層別で最も多かったのが成人、次いで高齢者の順。高齢者においては、車両の往来がなくなるまで横断を待つ人もいれば、信号機のある交差点では赤信号を無視して横断する人もいるなど、安全への意識の差が顕著だった。また、年齢層を問わず、横断歩道の半ばを過ぎたあたりで車道を斜め横断したり、携帯電話を操作しながら歩く人も散見された。



赤信号を無視して横断する歩行者



歩行中に携帯電話を操作する姿はよく見られた

●車両の歩行者保護状況

<信号機のない交差点の場合>

	四輪車	二輪車	合計
歩行者を優先させて一時停止した車両	65 (78.3%)	3 (60.0%)	68 (77.3%)
歩行者を優先せずに通過した車両	18 (21.7%)	2 (40.0%)	20 (22.7%)
合計	83	5	88

<信号機のある交差点の場合>

	四輪車	二輪車	合計
歩行者を優先させて一時停止した車両	28 (84.8%)	1 (33.3%)	29 (80.6%)
歩行者を優先せずに通過した車両	5 (15.2%)	2 (66.7%)	7 (19.4%)
合計	33	3	36

●歩行者の横断時左右確認状況*

<信号機のない交差点の場合>

	小学生以下	中・高校生	成人	高齢者	合計
左右確認してから横断を開始	5 (22.7%)	9 (50.0%)	20 (64.5%)	14 (51.9%)	48 (49.0%)
左右確認せずに横断を開始	17 (77.3%)	9 (50.0%)	11 (35.5%)	13 (48.1%)	50 (51.0%)
合計	22	18	31	27	98

<信号機のある交差点の場合>

	小学生以下	中・高校生	成人	高齢者	合計
左右確認してから横断を開始	0	0	9 (50.0%)	9 (56.2%)	18 (51.4%)
左右確認せずに横断を開始	1	0	9 (50.0%)	7 (43.8%)	17 (48.6%)
合計	1	0	18	16	35

*信号のある交差点を利用する小学生以下、中・高校生のほとんどは自転車を利用してため、「歩行者の横断時左右確認状況」の観察ではカウントができなかった。同時刻の自転車通行状況は、小学生以下：7台、中・高校生：4台、成人：13台、高齢者：5台だった。